

あなたは「君子」かな

三年生のみなさん、元気にしていますか。十三日に引き続き、『論語』について書きますね。今日は実際に、孔子がどんな教えを弟子たちに与えたかを見てみましょう。

子曰君子而不同小人同而不和

中国語だからもちろん漢字だけで書かれています。「而」の字が難しそうだけど、それ以外は全て小学校で学ぶ漢字ですよ。ここに「どきっ！」とする教えが入っているのです。

中国の方はこれを中国語で読みますが、私たち日本人はこれでは読めません。ここからが日本人のすごいところ！日本人でも読めるようにしてしまおうです。送り仮名をつけたり、読む順番をかえたりして読んでしまいます。それは二年生の漢詩の時に勉強したろうから、ここではやらないよ。

結局、日本人は次のように読んでしまいます。

子曰く、「君子は和して同せず。小人は同じて和せず」

「子(し)」とは孔子のこと。「日(いは)く」はおっしゃったという意味です。孔子は「」の中の言葉を弟子に言ったのです。

「立派な人物は、他の人たちと足並みをそろえることはできるが、決して自分を見失ってつられることはない。つまらない人物は、すぐ人につられて、他の人たちと足並みをそろえられない。」

どうですか。核心を突いているでしょ？どきっとするでしょ？今の現代においても、十分すぎるぐらい通用しますよね。何度も言いますが、日本で土をこねこねしている時に、こんなに鋭い教えを孔子はしていたのですよ。

「君子」は王という意味ではなく、「立派な人物」という意味。「小人」は小さな人ではなく、「つまらない人物」。さあ、あなたはどっち？日本人が好きな中間、「中人」なんてありませんからね。

(五月十六日分)